

特別養護老人ホーム入所申込者調査

I 事業目的及び事業の概要

1 調査目的

増加傾向にある特別養護老人ホームへの入所申込者について、その待機実態を調査し、かながわ高齢者保健福祉計画の推進に資することを目的とする。

2 調査対象

令和5年10月1日時点の県所管域(横須賀市を含む。)に所在する特別養護老人ホームに入所申し込みをしている者(県外及び横浜市・川崎市・相模原市に住所がある者を除く。)

3 調査内容及び調査方法

(1) 調査対象施設 155 施設

(2) 調査内容

令和5年度特別養護老人ホーム入所申込者調査 I (施設調査)(以下、「調査 I (施設調査)」という。)

この調査 I (施設調査)では、施設の入所者及び入所申込者全体の状況を調査した。

(3) 調査方法

基準日は、令和5年10月1日とした。

調査 I (施設調査)を各施設に送付し、回答を得た。

(4) 調査期間 令和5年10月20日から11月17日まで。

(5) 回答状況

調査 I (施設調査) 調査対象施設数 155 施設、回答施設数 97 施設、回答率 62.6%

4 地区の区分について

この報告書の中で地区における集計結果を示すことがあるが、各地区名と地区内の市町村は次のとおりである。

- | | |
|---------------|---------------------|
| (1) 横須賀地区 | 横須賀市 |
| (2) 南湘南地区 | 三浦市、三浦郡、鎌倉市、逗子市 |
| (3) 県央東部4市地区 | 大和市、綾瀬市、海老名市、座間市 |
| (4) 厚木・愛甲地区 | 厚木市、愛甲郡 |
| (5) 秦野・伊勢原地区 | 秦野市、伊勢原市 |
| (6) 藤沢地区 | 藤沢市 |
| (7) 茅ヶ崎・高座郡地区 | 茅ヶ崎市、高座郡 |
| (8) 湘南地区 | 平塚市、中郡 |
| (9) 小田原・足柄地区 | 小田原市、南足柄市、足柄上郡、足柄下郡 |

II 調査結果の概要

I 令和5年度特別養護老人ホーム入所申込者調査 I (施設調査) の概要

この調査 I (施設調査) については、155 施設に調査依頼し、97 施設から回答があった。回答率は、62.6%となっている。但し、調査項目ごとに回答がないものもあるので、各項目の説明のところに回答数という標記等で回答があったものの施設数を記載した。

(1) 施設の概要

ア 施設の居室種類 回答数 96

施設で設置している居室の種類をみると、従来型多床室を設置している施設が 56 施設で全体の 39.4%となっている。次に従来型個室が 37 施設(26.1%)、ユニット型個室が 49 施設(34.5%)となっている。(パーセンテージは個々に四捨五入しているため、合計では 100%にならないことがある。以下同じ。)

ユニット型個室の設置状況を地区別でみると、小田原・足柄地区が 10 施設、南湘南地区が 7 施設となっている。

○ 施設の居室種類

項目 合計 (%)	地区名	横須賀	南湘南	県央東部	厚木・愛甲	秦野・伊勢原	藤沢	茅ヶ崎・寒川	湘南	小田原・足柄
従来型多床室 56(39.4)		9	7	7	7	5	5	5	2	9
従来型個室 37(26.1)		8	7	3	4	4	2	2	2	5
ユニット型個室 49(34.5)		4	7	6	4	5	6	2	5	10

イ 入所定員 回答数 97

入所定員合計は、7,959 名となっており、従来型多床室が 3,682 名(46.3%)、ユニット型個室が 3,856 名(48.4%)、従来型個室が 421 名(5.3%)となっている。地域別では、横須賀地区が 1,373 名(17.3%)と最も多くなっている。

○ 入所定員

項目 合計 (%)	地区名	横須賀	南湘南	県央東部	厚木・愛甲	秦野・伊勢原	藤沢	茅ヶ崎・寒川	湘南	小田原・足柄
従来型多床室 3,682(46.3)		885	461	482	327	239	337	270	87	594
従来型個室 421(5.3)		61	66	38	45	111	13	14	20	53
ユニット型個室 3,856(48.4)		351	415	452	294	272	660	180	506	726
合計 7,959(100.0)		1,297 (16.3)	942 (11.8)	972 (12.2)	666 (8.4)	622 (7.8)	1,010 (12.7)	464 (5.8)	613 (7.7)	1,373 (17.3)

(2) 入所申込等について

ア 入所の基準の状況 回答数 95

入所に関する基準については、行政からの基準をそのまま使用している施設が 69 施設、行政からの基準を一部修正して使用している施設が 23 施設であり、全く独自に基準を設けている施設は 3 施設であった。

○ 入所の基準

項目 合計		地区名								
		横須賀	南湘南	県央東部	厚木・愛甲	秦野・伊勢原	藤沢	茅ヶ崎・寒川	湘南	小田原・足柄
行政の基準	69	10	7	8	9	4	6	7	5	13
一部修正	23	2	5	1	1	4	4	1	2	3
独自に設定	3			3						
合計	95	12	12	12	10	8	10	8	7	16

イ 令和5年10月1日現在の入所申込者の状況 回答数 94

令和5年10月1日現在の入所申込者合計は 10,345 名で、地区別にみると申込者の多い順に横須賀地区が 1,732 名、藤沢地区が 1,644 名、県央東部4市地区が 1,440 名となっている。

○ 令和5年10月1日現在の入所申込者

項目 合計 (%)		地区名								
		横須賀	南湘南	県央東部	厚木・愛甲	秦野・伊勢原	藤沢	茅ヶ崎・寒川	湘南	小田原・足柄
入所申込者総数	10,345	1,732	892	1,440	996	1,235	1,644	736	490	1,180
	(100.0)	(16.7)	(8.6)	(13.9)	(9.6)	(11.9)	(15.9)	(7.1)	(4.7)	(11.4)

ウ 前年度に入所申込の取り下げがあった者の数 回答数 93

前年度入所取り下げがあった施設数は 93 施設で、合計 4,325 名となっている。内訳は他施設・入院による取り下げが 2,172 名で 50.2%、申込者の死亡による取り下げが 1,447 名で 33.5%となっている。

なお、入所申込の取り下げが必ずしも行われていない状況も考えられることから実際の取り下げは更に多くなっているものと思料される。

○ 前年度に入所申込の取り下げがあった数

項目	合計 (%)	地区名								
		横須賀	南湘南	県央東部	厚木・愛甲	秦野・伊勢原	藤沢	茅ヶ崎・寒川	湘南	小田原・足柄
死亡による	1,447(33.5)	390	86	202	68	148	254	61	106	132
他施設・入院	2,172(50.2)	529	201	330	76	157	419	132	110	218
その他	706(16.3)	185	12	87	27	45	116	36	143	55
合計	4,325(100.0)	1104	299	619	171	350	789	229	359	405

エ 入所申込後の本人情報の確認の状況 回答数 96

入所申込後の本人情報の確認は、定期的実施が 46 施設、不定期実施が 40 施設となっているが、実施していないは 11 施設あった。

○ 入所申込後の本人情報の確認

項目	合計	地区名								
		横須賀	南湘南	県央東部	厚木・愛甲	秦野・伊勢原	藤沢	茅ヶ崎・寒川	湘南	小田原・足柄
定期的実施	46	10	4	3	7	3	3	3	3	10
不定期実施	40	2	9	5	3	4	6	5	3	3
実施していない	11			4		1	2	1	1	2

オ 直近に本人状況の確認を行った者の数 回答数 83

直近に本人状況の確認を行った施設は 83 施設で、5,442 名に対して確認を行い回答率 70.1%にあたる 3,800 名の回答を得ている。地区別の回答率では、茅ヶ崎・寒川地区が 81.3%、南湘南地区が 80.3%、秦野・伊勢原地区、県央東部 4 市、横須賀、藤沢地区の 4 地区が 70.0%台、厚木・愛甲地区が 69.0%、その他の 2 地区は 60%未満で回答率は低くなっている。

○ 直近に本人状況の確認を行った者の数

項目	合計	地区名								
		横須賀	南湘南	県央東部	厚木・愛甲	秦野・伊勢原	藤沢	茅ヶ崎・寒川	湘南	小田原・足柄
調査した数	5,422	1,348	380	339	339	520	1,058	182	625	631
回答数	3,800	1,002	305	255	234	398	778	148	313	367
回答率 (%)	70.1	74.3	80.3	75.2	69.0	76.5	73.5	81.3	50.1	58.2

カ 前年度入所確認した者の数 回答数 89

前年度入所確認したと回答のあった施設は 89 施設で合計 4,267 名の確認を行っている。地区別では、横須賀地区が 1,205 名、藤沢地区が 634 名、小田原・足柄地区が 536 名となっている。

○ 前年度入所確認した者の数

項目 合計		地区名								
		横須賀	南湘南	県央東部	厚木・愛甲	秦野・伊勢原	藤沢	茅ヶ崎・寒川	湘南	小田原・足柄
確認数	4,267	1,205	399	294	237	343	634	360	259	536

キ 前年度入所確認時に保留となった理由 回答数 82

前年度入所確認をした施設のうち入所保留のあった施設数は 82 で、合計 1126 名保留者があった。

内訳を見ると、本人及び家族が在宅や他の施設での生活継続を希望している者が最も多く 457 名で全体の 40.6%となっている。なお、本人の医療的ケアのニーズに応えられないが 207 名(18.4%)、本人の認知ケアのニーズに応えられないが 69 名(6.1%)で併せて 276 名の方々(24.5%)については、施設での対応が困難となっている。

前年度入所確認した者(4,267 名)と保留となった者(1,126 名)から、保留率は 26.4%となる。

○ 前年度入所確認時に保留となった理由

項目 合計 (%)		地区名								
		横須賀	南湘南	県央東部	厚木・愛甲	秦野・伊勢原	藤沢	茅ヶ崎・寒川	湘南	小田原・足柄
在宅・他施設希望	457(40.6)	57	38	67	19	55	58	22	74	67
入院中	142(12.6)	11	28	49	10	8	19	3	6	8
医療的ケアが困難	207(18.4)	7	12	69	6	17	21	24	30	21
認知症ケアが困難	69(6.1)	1	9	15	0	4	9	4	18	9
その他	251(22.3)	8	121	49	1	2	32	0	29	9
合計	1126(100.0)	84	208	249	36	86	139	53	157	114

ク 入所申込者のうち担当者の判断で「すみやかな入所」が必要と考える者の数

回答数 95

「すみやかな入所」が必要と考える者の数については 95 施設から回答があり、合計で 996 名となっている。

この質問については、普段の業務の中で担当者が「すみやかな入所が必要」と考える者の数を聞いたもので、①回答にあたって個々の入所申込書を確認していないことや、②入所申込者個々の医療的ケアのニーズ等を把握できず施設として入所可能かどうか判断が困難という意見があったこと、③入所申込後長期となっている者の状況を把握できていないといったこともあり、入所を必要とする者の数が低めに出ることが考えられる。

○ 入所申込者のうち担当者の判断で「すみやかな入所」が必要と考える者の数

項目 合計 (%)	横須賀	南湘南	県央東部	厚木・愛甲	秦野・伊勢原	藤沢	茅ヶ崎・寒川	湘南	小田原・足柄
すみやかな入所が必要 996 (100.0)	144 (14.5)	57 (5.7)	74 (7.4)	102 (10.2)	25 (2.5)	257 (25.8)	180 (18.1)	46 (4.6)	111 (11.1)

ケ 要介護度が 1、2 の入所申込者のうち、入所が必要と考える者の数 回答数 23

要介護度が 1、2 の入所申込者のうち、入所が必要と回答のあった施設数は 23 施設で合計 116 名の者が入所を必要としている。

地区別では、秦野・伊勢原地区 40 名 (34.5%)、厚木・愛甲地区 19 名 (16.4%)、湘南地区 15 名 (12.9%) となっている。

○ 要介護度が 1、2 の入所申込者のうち、入所が必要と考える者の数

項目 合計 (%)	横須賀	南湘南	県央東部	厚木・愛甲	秦野・伊勢原	藤沢	茅ヶ崎・寒川	湘南	小田原・足柄
すみやかな入所が必要 116 (100.0)	6 (5.2)	1 (0.9)	14 (12.1)	19 (16.4)	40 (34.5)	13 (11.2)	1 (0.9)	15 (12.9)	7 (6.0)

コ 検証の結果

特養待機者は県が名寄せ後の特養の入所待機者数は平均で 1 施設 37.5 人(政令市を除く)となっている。しかし、高齢協の調査で各施設の名簿上の待機者は約 40% が取り下げ、類型施設や在宅での生活継続を希望するケース及び現状で医療依存度が高く生活施設での受け入れが難しいケース等の保留者は 26.4% あり、実態調査結果を勘案すると 1 施設 20 人を下回ると思われる。

令和5年度特別養護老人ホーム入所申込者調査

【記載要領】

- 1 この調査は、施設の概要と入所申込の状況等に係る調査となります。
- 2 令和5年10月1日現在で登録されているすべての入所申込者を対象とします。
- 4 特に指定のない場合は、令和5年10月1日現在で回答してください。

施設名 _____
担当者名 _____ 連絡先 _____

1 貴施設について

(1) 所在市町村 _____

(2) 施設の居室種類
(該当する項目に数字の「1」を記入)

従来型多床室	<input type="text"/>
従来型個室	<input type="text"/>
ユニット型個室	<input type="text"/>

(3) 入所定員

従来型多床室	<input type="text"/>
従来型個室	<input type="text"/>
ユニット型個室	<input type="text"/>
計	0

(4) 併設ショートステイの状況
(令和4年10月1日～令和5年9月30日※365日です)

ショート年総定員数
ショート年総延べ利用者数

2 入所申込等について

(1) 入所に関する基準
(該当する項目に数字の「1」を記入してください。)

行政の基準をそのまま使用している。
行政の基準を一部修正し使用している。
独自に基準を定めている。

<input type="text"/>
<input type="text"/>
<input type="text"/>

(2) 令和5年10月1日現在の
入所申込者総数

名

(3) 入所申込後の本人情報の確認について
(該当する項目に数字の「1」を記入)

定期的実施している。 → _____年に _____回 実施
不定期に実施している。 → 直近 令和 _____年 _____月に実施
実施していない。

(4) 直近に本人状況の確認を行った方の数

調査した数
回答数

(5) 前年度入所確認をした数

名

回答率

#####%

(6)前年度入所確認時に保留となった理由(該当する項目に数を記入してください。)

本人及び家族が在宅や他の施設での生活の継続を希望したため。
本人が入院中のため。
本人の医療的ケアのニーズに応えられないため。
本人の認知症ケアのニーズに応えられないため。
その他
計

0

(「その他」の主な理由)

—

(7)令和4年度に申込の取り下げがあった数

申込者の死亡による取り下げ
他施設・入院による取り下げ
その他
計

0

(8)令和4年度の入所申込者のうち施設としての判断で「すみやかな入所」が必要と考える数
(この調査票記入時点で、空床の有無には関係なく判断してください。)

□名

(9)要介護度が1、2の入所申込者のうち、施設として特例入所が必要と考える数
(この調査票記入時点で、空床の有無には関係なく判断してください。)

要介護1 □名
要介護2 □名

※ ご協力ありがとうございました。

特別養護老人ホーム入所待機状況

圏域名	令和5年4月1日現在 (人)					
	要介護1 ※	要介護2 ※	要介護3	要介護4	要介護5	合計
横浜圏域	92	300	1,199	1,003	632	3,226
川崎圏域	77	154	890	783	467	2,371
相模原圏域	0	0	224	228	128	580
横須賀三浦圏域	15	26	453	478	303	1,275
県央圏域	23	53	524	524	354	1,478
湘南東部圏域	71	86	388	381	248	1,174
湘南西部圏域	25	71	541	467	317	1,421
県西圏域	1	2	225	185	114	527
神奈川県合計	304	692	4,444	4,049	2,563	12,052

※ 要介護1～5の方を待機者として算出しておりますが、
政令市である横浜圏域、川崎圏域、相模原圏域以外の圏域の要介護1、2の数値は、
特例入所に該当する方（要介護1－○又は要介護2－○の方）の数値です。
(政令市については、独自調査の結果の数値です。)

※ 本票は、待機者の実数把握のため「名寄せ」した結果をとりまとめたものであり、
個人の複数施設への重複申込み数（延べ人数）とは異なります。